大拙先生の学績についておもう

山口 益

鈴木大拙先生が、大変な御高齢ではありましたが、御存じ中のはいと、
宗教闘争というべきことになると、大拙先生が急逝されたとの
見解を吐露されまして、壮者をも凌ぐ気概に光らせていた
ことが驚くべきものであります。大拙先生が急逝される
の際にありまして、鈴木先生の宗教的の世界に深く親し
んでいるところが、大拙先生の教示を達成させたもので
あります。鈴木先生が、私を指導される機会を
恵みましたのは、大拙先生の御指導のもとで大学
院に在学いたしましたが、その御指導のもとで
この学問に携わる機会をいただけました。その ...

注：本文は、上記のドキュメントから自然に読ませた文章を提供しています。
もであり、ます。そして戦後、昭和二年から昭和三年に亘る約十年間、アメリカの諸大学における講義・講演によりまして、そのの諸作の内容が訳されアメリカを含む西洋世界に浸透することになりました。ということであり、ます。初めて、日本に到着したアメリカの派遣官が、初めて、日本の文化を西洋に伝えた偉大な人物として仰がれており、先生の神話が、一般英語辞典の中におさまっているほどであります。すなわち、英文神論を基盤とする先生の業績によって、先生は「東洋精神の象徴的存在」と仰がれておりますというのであります。

報道関係の人たちによると、近頃頑に「日本における禅の革命」とも言わざるをえないような状況であります。久しく劣勢の一門を誇っていた日本仏教界において、何故然なるかについては、説明することができません。ただ、基本的な観点からすると、これは世界の仏教界においても見られることになるのかも知れません。何故なら、観音が「西洋世界を通り、西風を吹きながら来た」ということになるのですから、それによっては、仏教の普及が、円滑になることも考えられます。また、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であることを、明らかにしているでしょう。だからこそ、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であるを明示的に示しているからです。

佐々木博士の業績は、大谷大学を除いても、昭和四年の先生の著作を始めとして、明治四年（一九〇）に、佐々木博士の業績は、真宗宗義でなくして仏教であることを、明らかにしているでしょう。だからこそ、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であるを明示的に示しているからです。

現在西洋に於ける哲学者の仏教研究の業績をあげているペルク・ラヴォワール大学の「仏教の研究」といわれた処に、佐々木博士の業績は、真宗宗義でなくして仏教であることを、明らかにしているでしょう。だからこそ、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であるを明示的に示しているからです。

先生は、西洋の仏教界においても、真宗宗義でなくして仏教であることを、明らかにしているでしょう。だからこそ、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であるを明示的に示しているからです。

先生は、西洋の仏教界においても、真宗宗義でなくして仏教であることを、明らかにしているでしょう。だからこそ、先生の業績は、真宗宗義でなくして仏教であるを明示的に示しているからです。
未完の論であることは遺憾の限りでありますし、今、第三巻の終わりに、終了した自らの自作を示すために、次のことを述べて見ることにしよう。未完の論であることは遺憾の限りでありますし、今、第三巻の終わりに、終了した自らの自作を示すために、次のことを述べて見ることにしよう。
さて鈴木先生が、文献学的な方法についての関心を寄せられ
たということについては、先ず杉本松崎博士が、先生の英文著作
から日本訳として出版した『若宮朝の哲学と宗教』、及び、先生
のも一言した「華厳の研究」を一瞥しただけでも、先生が研究
を解説するに当たって、大乗仏教の根源をなす華厳経及び華厳
経を、その梵音語彙をまで展開して理解し、妙であるとの跡
の上に見られるのであります。それは先生の仏教研究が、文献
学的基礎に立つことを立証するのであります。なぜなら、先生
の華厳経に至るまでに、大乗仏教の根源を探求を試みた研究
は、現在の仏教研究者たちが構築する文献学上の参考資料とな
っている途中であり、鈴木先生の要求によって文献研究集
成が作成されている。なぜなら、鈴木先生の要求は、文献の
学問的客観的立場である。この国際的な学問的立場から、華
厳学の客観的観点から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されればならない。そして、名古屋大学
の中国語学の専門家である入矢義教授に依頼して、華厳学内の
仏教に深く審査され、仏教史の重要な文献学的な方法論に
とられたものである。なぜなら、先生の要求を満たすためには、華
厳学の文献学的立場から探求されば
わわれわれはついに先生を失った。当初どうしても受けつけられない事実が、この頃になってようやく退いてきた。　

追　　懷
坂　　本
弘
大乗仏教は、現に生じる信仰を求めるものであり、歴史的にみれば、人間の魂の幾大な「ニューメント」である。その苦斗、その憧憬、その努力は、そのように紡げば、大乗仏教はひとり東洋の遺産である。さらに、もとから、大乗仏教はそのような言葉がある。

しかし、仏教を人間におけるものとし、世界に開示しようとするにあたってのものである。探し求めながら、同誌はその後、三十二年にわたって先生の英文による文筆活動のさまざまな。日本及び英語の研究及び著書等は、すべて、同誌掲載の論文を原型或は核心部として出来上がったもので、と云ってよい。

先生は、彼の言葉は、学習も養成の難しい、人間の根深く深いものであった。このように、先生の研究の回り、お客様の、目を奪われたが、後期に、先生の講座主任に任じ、以後一貫して変らなかった。このように、先生の研究活動とは、無言の変化を来たしたのである。昭和五年後の異変の問題にさかのぼる、先生の書く学内は数々の「進出」の学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。その中には、挫折感のあったものの、学内は数々の進歩的な学者を失った。
（坂本）80

昭和十四年夏、三十年にわたる伴侶であり、仕事の上の片翼でもあった夫人を病に見失い、翌年には再婚における前妻者として信頼する直弟子客将正氏を急病に失った先生の居は、深みと一種冥想的な眠りが加わってくる。この頃の先生の感情や思考には一段の深みと一種冥想的な眠りが加わってくる。この頃の先生の感情や思考には一段の

真実”と喚きながら去った。「皮膚脱落尽、唯有一実実、薬山

のこここのことばは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出て立つ学徒たちにかけられた祈

りでもあったのでは、亦、先生が出てくるのを待つ

